

交声曲

# 北海道東征

信時潔作曲 北原白秋作詩

シベリウス

交響詩「フィンランディア」作品26

大栗裕

管弦楽のための「神話」

「天の岩屋戸の物語による」

\*

信時潔

交声曲「海道東征」

〔指揮〕大井剛史

〔管弦楽〕東京フィルハーモニー交響楽団



©上野隆文

平成29年(2017年) **4月19日** 水 東京芸術劇場コンサートホール

開演**19:00** (開場18:00)

主催：産経新聞社  
共催：神社本庁

後援：フジサンケイグループ

発売中

全席指定(税込)  
S席 ¥8,000  
A席 ¥7,000

※未就学児  
入場不可



©K.Miura

〔指揮〕大井剛史



〔ソプラノ〕幸田浩子



〔ソプラノ〕盛田麻央



〔アルト〕田村由貴絵



〔テノール〕小原啓楼



〔バリトン〕原田 圭

〔合唱〕栗友会(合唱指揮：栗山文昭) 杉並児童合唱団(合唱指揮：津嶋麻子)

※やむを得ない事情により出演者・曲目を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

## 取り扱いプレイガイド

- 東京音協オンラインチケット <http://t-onkyo-web.pia.jp/top.ds>
- 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650(10:00~19:00)
- ローソンチケット 0570-084-003(Lコード:31882)
- 東京芸術劇場 0570-010-296(ナビダイヤル)(10:00~19:00)
- チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:314-893)
- イープラス <http://eplus.jp/kaidou/>



# 海道東征

日本建国の神話を格調高く描いた世界に誇る名曲、交声曲「海道東征」は、1940年(昭和15年)の「皇紀2600年奉祝行事」のために書かれた。当時山田耕筰らとともに日本の洋楽の礎を作った作曲家 信時 潔(1887-1965)によるこの大作、歌詞は『日本書紀』や『古事記』の記述を元に詩人・北原白秋が手がけた。管弦楽、独唱、重唱、合唱、児童合唱が見事に組み合わせられたこのカンタータ(交声曲)は、「国産み」から神武東征までを吟ずる8章からなる。

戦後封印されてきたこの名曲は、信時潔没後50年の2015年秋、大阪フィルハーモニー交響楽団により蘇り、翌2016年秋の再演も含め大好評となった。熱い期待に応え、いよいよ東京公演を開催する。

## 第1章 高千穂(たかちほ)

天地創造～日向・高千穂への称賛～カムヤマトイハレビミコト(後の神武天皇)の東征決意

## 第2章 大和思慕(やまとしほ)

出帆前、大和への憧れ 古事記「大和は国のまほろば」からの引用

## 第3章 御船出(みふなで)

日の出、満ち潮。日向・美津港からの出帆 東征の始まり

## 第4章 御船謡(みふなうた)

旅の安寧を祈る「祝詞」～ 掛け声と船謡調の掛け合い

## 第5章 速吸と菟狭(はやすいとうさ)

わらべ唄風の児童合唱が速吸(大分と愛媛の間の佐賀関海峡)での古の物語を、民は中世歌謡風の歌で菟狭(宇佐地方)に上陸した一行を歓迎する



信時 潔(のぶとききよし) 写真提供:信時 裕子

## 第6章 海道回顧(かいどうかいこ)

宇佐の滞在ののち、筑紫の国、安芸の国、吉備の国を経て目指す、東への長き旅路

## 第7章 白肩の津上陸(しらかたのつじょうりく)

河内の国 白肩野津への上陸～豪族・長髓彦との戦闘

## 第8章 天業恢弘(てんぎょうかいこう)

イハレビコは大和の橿原で天皇に即位する。三種の神器への賛歌、日本の建国を語る情景

## シベリウス

### 交響詩「フィンランディア」作品26

フィンランドの作曲家ジャン・シベリウス(1865-1957)によって、愛国の精神のもとに書かれた。国の名前を冠したこの曲は、当時ロシアの圧政の下にあった祖国の人々にとって、まさに独立への熱い思いを象徴する特別な存在となった。巧みなオーケストレーションにより、重苦しい圧制への抵抗、哀愁に満ちた祖国への祈り、自由への脱出、豊かな祖国の自然への賛歌が描かれている。

## 大栗 裕

### 管弦楽のための「神話」-天の岩屋戸の物語による-

大阪の風土や民族的なスタイルを取り入れた作風から「浪速のバルトーク」と呼ばれた大栗裕(おおぐり ひろし 1918-1982)。吹奏楽曲、管弦楽曲、オペラなど多岐にわたる作品を発表し、地元で足跡を残した。スサノオの暴挙を憂いた天照大神が「天の岩屋戸」に隠れたという神話に題材を得て書かれたこの作品は、太陽神なき暗黒世界の緊張感や、神々の参集、法悦の舞踏などのシーンが、緩急の管打楽器で効果的に表現された壮大な「物語の音楽」。この作曲家の代表作である。



©K.Miura

## 指揮 大井 剛史

TAKESHI OOI

東京藝術大および大学院にて松尾葉子氏に師事、故若杉弘、故岩城宏之、レヴァイン、マズア、ジェルメッティ、カラブチェフスキーの各氏から指導を受ける。2007～09年、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団にて研修。2009年～16年3月までニューフィルハーモニーオーケストラ千葉の常任指揮者を務めた。現在、山形交響楽団正指揮者、東京俊成ウインドオーケストラ正指揮者を務める。この他、国内各地のオーケストラを指揮し、いずれも高い評価を得ている。新進作曲家の現代作品や、吹奏楽、オペラ、バレエ、など幅広い分野で意欲的に活動している。08年アントニオ・ベドロッチイ国際指揮者コンクール第2位。高美ミュージックカレッジ専門学校客員教授。



©上野隆文



管弦楽 東京フィルハーモニー交響楽団 TOKYO PHILHARMONIC ORCHESTRA

1911年創立。日本のオーケストラとして最古の歴史をもつ。メンバー約130名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督チョン・ミョンファン、首席指揮者アンドレア・バウティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ。定期演奏会等の自主公演、新国立劇場などでのオペラ・バレエ演奏、放送演奏、教育プログラムのほか海外公演でも高い評価を得る。2015年12月には日韓外交正常化50周年を記念してソウルと東京の2都市でチョン・ミョンファン指揮ソウル・フィルと合同演奏会を行い国内外の注目を集めた。

【公式ウェブサイト】 <http://www.tpo.or.jp/>

【公式フェイスブック】 <https://www.facebook.com/TokyoPhilharmonic>

【公式ツイッター】 <https://twitter.com/tpo1911>

## チケット発売中

- 東京音協オンラインチケット <http://t-onkyo-web.pia.jp/top.ds>
- 東京芸術劇場(池袋駅西口) セブン-イレブン引取可能 0570-010-296(ナビダイヤル)(10:00~19:00)
- 東京文化会館チケットサービス(上野駅公園口) 郵送可能 03-5685-0650(10:00~19:00)
- チケットぴあ <http://t.pia.jp/> 0570-02-9999(Pコード:314-893)  
全国のチケットぴあ店舗、セブン-イレブン、サークルKサンクス店内端末(直接購入可能)
- ローソンチケット <http://l-tike.com/> 0570-084-003(Lコード:31882)  
ローソン、ミニストップ店内端末Loppi(直接購入可能)
- イープラス(専用URL) <http://eplus.jp/kaidou/>

【お問い合わせ】 東京音協:03-5774-3030(平日11:00~17:00)

◇ ホームページ [http://eventsankei.jp/kaidou\\_tousei/index.html](http://eventsankei.jp/kaidou_tousei/index.html)

## 【会場へのアクセス】



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1 TEL:03-5391-2111  
JR. 東京メトロ、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分。  
池袋駅地下通路の2b出口で直結しています。